

ご使用に際して、この添付文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管しておいてください。

ミミトニンB 第②類医薬品

- イブプロフェンの解熱・鎮痛作用により、かぜによる発熱・さむけ（悪寒）・頭痛・のどの痛みなどに効果があります。
- 8種類の成分がバランスよくはたらいて、かぜのいろいろな症状を緩和するかぜ薬です。
- 柑橘類などに含まれるビタミンPの一種であるヘスペリジンを配合しています。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）

- ① 次の人は服用しないこと
 - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
 - (3) 15歳未満の小児。
 - (4) 出産予定日12週以内の妊婦。
- ② 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
 - 他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬、催眠鎮静薬等）
- ③ 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと
（眠気等があらわれることがある）
- ④ 服用前後は飲酒しないこと
- ⑤ 5日間を超えて服用しないこと



相談すること

- ① 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 授乳中の人。
 - (4) 高齢者。
 - (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (6) 次の症状のある人。高熱、排尿困難
 - (7) 次の診断を受けた人。甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
 - (8) 次の病気にかかったことのある人。胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病
- ② 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること



関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、胸やけ、胃もたれ、腹痛、下痢、血便、胃腸出血、口内炎
精神神経系	めまい
循環器	動悸
呼吸器	息切れ
泌尿器	排尿困難
その他	鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中痛み、過度の体温低下、目のかすみ、耳なり、むくみ、からだがだるい

まれに右記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステイブ・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等の症状があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

- ③ 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強がみられた場合には、服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。便秘、下痢、口のかわき、眠気
- ④ 5～6回服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

用法・用量

次の1回量を1日3回食後なるべく30分以内に服用すること。

	成人(15歳以上)	15歳未満
1回量	2カプセル 	服用しないこと 

用法・用量に関連する注意

- 用法・用量を厳守すること。
- カプセルの取り出し方
下図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる。)



〈PTPシートの取り出し図〉

効能・効果

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

のどの痛み・
発熱等に



せき・
たんに



くしゃみ・
鼻みず・
鼻づまりに



成分・分量

1日量(6カプセル)中

イブプロフェン 450mg

発熱、のどの痛み、頭痛、関節や筋肉の痛みに効果が
あります。

チペピジンヒバンス酸塩 75mg

せきの中枢に作用してせきをしずめ、たんを切ります。

dl-メチルエフェドリン塩酸塩 60mg

気管支をひろげてせきをしずめ、たんを切ります。

クロルフェニラミンマレイン酸塩 7.5mg

抗ヒスタミン作用により、くしゃみ、鼻みず、鼻づ
まりの症状を抑えます。

無水カフェイン 75mg

脳の血管に働いて、頭痛をしずめます。

ヘスペリジン 90mg

ビタミン

カンゾウ乾燥エキス(原生薬換算量900mg) 180mg

かぜによるのどの炎症や痛みを抑えます。

キキョウ乾燥エキス(原生薬換算量400mg) 89mg

たんをうすめて、たんの切れをよくします。

添加物としてヒドロキシプロピルセルロース、乳糖水
和物、結晶セルロース、バレイシヨデンブ、カルメロ
ースカルシウム、ゼラチン・マクロゴール4000・酸化チ
タン・ラウリル硫酸ナトリウム(カプセル本体)を含む

保管及び取り扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- 小児の手の届かない所に保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる)
- 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。
- 一度内装(アルミの袋)を開封した後は、品質保持の点から開封日より6か月以内を目安になるべくすみやかに服用すること。



お問い合わせ先

- 連絡先 **ワキ製薬株式会社** お客様相談室
住所 **奈良県北葛城郡広陵町南郷898**
電話 **0120-200-114**
受付時間 **午前9時から午後5時まで(土、日、祝日を除く)**

製造販売元

 **WAKI ワキ製薬株式会社**

〒635-0814 奈良県北葛城郡広陵町南郷898

URL:<http://www.a-kusuri.co.jp/>

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独) 医薬品医療機器総合機構

<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

電話: 0120-149-931 (フリーダイヤル)